# 第２期　　平成１８年度事業報告書

特定非営利活動法人　画像による文化財復元研究会

## Ⅰ　事業期間

平成１８年４月１日～平成１９年３月３１日

## Ⅱ　事業方針

前年度同様、本法人の事業のうち、復元技術に関する啓発事業と、実際の復元作業と、海外の文化財の復元及び技術者育成事業と、技術開発を行う。

## Ⅲ　事業の成果

地域の繋がりから、今年度は展示を多く行った。また、「思い出の写真でタイムトリップ事業」を社会起業家事業として取り組んでいくことになった。初めて体験講座も行った。

## Ⅳ　事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1)事業名　　文化財保護と復元に関する講演等、啓発　事業

内容　復元、文化財保護　団体活動　紹介の為の展示

展示会場を借り、文化財の保護、復元パネル、技術の紹介パネルなど使用し、展示を行う。多くの人に見に来てもらえるようチラシ制作など広報も行う。

| | |
|---|---|
| 収入 | 0 円 |
| 支出 | 0 円 |

（名称）『甦る淀川の情景　鍵屋資料館別棟　欄間絵の復元』展

| | |
|---|---|
| 実施場所 | 全労済大阪府本部共済ショップ枚方<br>「フリースペースふれんずわっ！」 |
| 実施日時 | 平成 18 年 8 月 9 日～平成 18 年 9 月 8 日 |
| 事業の対象者 | 枚方市民、その他不特定 |

（名称）『甦る淀川の情景　鍵屋資料館別棟　欄間絵の復元』展

| | |
|---|---|
| 実施場所 | 『枚方信用金庫』の６店舗 |
| 実施日時 | 平成 18 年 9 月 13 日～平成 18 年 12 月 1 日 |

| | |
|---|---|
| 事業の対象者 | 枚方市民、その他不特定 |

（名称）『甦る文化財　デジタル画像による復元例』展

| | |
|---|---|
| 実施場所 | 全労済大阪府本部共済ショップ枚方<br>「フリースペースふれんずわっ！」 |
| 実施日時 | 平成 18 年 10 月 10 日～平成 18 年 11 月 10 日 |
| 事業の対象者 | 枚方市民、その他不特定 |

内容 **イベントでの展示参加　復元技術紹介**

他団体主催のイベントに参加し、画像による文化財の復元技術や、保護についての紹介を行う。

| | |
|---|---|
| 収入 | 0 円 |
| 支出 | 0 円 |

（名称）イベント参加　『ひらかたＮＰＯフェスタ２００６』

| | |
|---|---|
| 実施場所 | サプリ村野 |
| 実施日時 | 平成 18 年 10 月 22 日 |
| 参加形態 | 展示・ステージ発表 |
| 事業の対象者 | イベント来場者 |

（名称）イベント参加　『きらら祭り』

| | |
|---|---|
| 実施場所 | 輝きプラザきららとその周辺 |
| 実施日時 | 平成 18 年 12 月 3 日 |
| 参加形態 | 展示 |
| 事業の対象者 | イベント来場者 |

（名称）イベント参加　『CB フォーラムおおさか』

| | |
|---|---|
| 実施場所 | 大阪産業創造館 |
| 実施日時 | 平成 19 年 3 月 26 日 |
| 参加形態 | ブース展示 |
| 事業の対象者 | イベント来場者 |

内容　**活動説明会・講座の開催**

画像による文化財の復元に関連した、レクチャー、体験講座など、展示では伝わらない内容を伝える。

| | |
|---|---|
| 収入 | 9000 円 |

| | |
|---|---|
| 支出 | 0 円 |

（名称）説明会　『デジタル画像による復元』

| | |
|---|---|
| 実施場所 | 全労済大阪府本部共済ショップ枚方<br>「フリースペースふれんずわっ！」 |
| 実施日時 | 平成 18 年 10 月 25 日・平成 18 年 10 月 28 日 |
| 事業の対象者 | 枚方市民・近畿の行政文化財担当者 |

（名称）体験講座　『思い出の写真を復元』

| | |
|---|---|
| 実施場所 | 輝きプラザ「きらら」　研究会スタジオ |
| 実施日時 | 平成 18 年 12 月 10 日 |
| 事業の対象者 | 参加申込者(6 人) |
| 参加費 | １５００円 |

(2)事業名　　文化財復元及び解読　事業

内容 文化財等の復元及び解読

画像による文化財の復元の技術を活かし、文化財の復元と解読を行う。今年度は古い昔の写真を中心に行った。

| | |
|---|---|
| 収入 | 0 円 |
| 支出 | 0 円 |

（名称）「昔の写真」復元（延べ１０点）

| | |
|---|---|
| 復元対象 | 個人所有昔の写真 |
| 実施場所 | 大阪府枚方市 |
| 実施日時 | 平成１８年度通年 |
| 事業の対象者 | 枚方市民 |

(3)事業名　　海外の文化財復元　事業

内容　海外文化財の復元事前調査

海外の文化財復元事前調査を行う。今年度は、進展がなく、特に費用も発生していない。

| | |
|---|---|
| 収入 | 0 円 |

| | |
|---|---|
| 支出 | 0 円 |

(4)事業名　　文化財復元技術者の育成　事業

内容 復元技術者育成

研修生の実践を通しての研修、また、今後の研修、講座のメニューの検討を行った。

| | |
|---|---|
| 収入 | 0 円 |
| 支出 | 0 円 |

（名称）復元の研究と講習、また実践

| | |
|---|---|
| 実施場所 | 枚方市　牧野阪 1 丁目 23 番 5 号<br>枚方市　車塚１－１－１（スタジオ移転先） |
| 実施日時 | 通年 |
| 事業の対象者 | 当法人　正会員 2 名 |

(５)事業名　　その他目的を達成するために必要な活動

内容　　目的を達成する為に必要な活動

目的を達成する為に、自主企画を行うなど、地域や周囲の団体との連携の中で出てきた企画・計画を柔軟的に行っていく。

| | |
|---|---|
| 収入 | 451,000 円 |
| 支出 | 455,030 円 |

（企画活動）

（名称）「思い出の写真でタイムトリップ事業」企画実施

| | |
|---|---|
| 実施場所 | 枚方市　車塚１－１－１ |
| 事業開始 | １１月１日 |
| 試験実施期間 | １月１日～3 月 3１日 |
| 事業の対象者 | 古い写真を持っているかた、枚方市民 |
| 収入 | 451,000 円 |
| 支出 | 455,030 円 |

## Ⅴ　会員総会の開催状況

**第一回通常総会**

（日時）　　平成１８年６月１８日　１５時　00分から１６時00分まで

（場所）　　枚方市牧野阪１丁目23番５号

（会員総数）　１６名

（出席者数）　８名（うち委任状出席者４名）

（内容）

①　代表理事　大隈　剛由氏が、開会の辞をのべた。

②　議長の選任について諮ったところ、満場一致をもって大隈　剛由氏を選任した。

③　続いて、議長のあいさつの後議案の審議に入った。

第１号議案　平成１７年度の事業報告承認の件

審議の結果、全員一致で可決承認

第２号議案　平成１７年度収支決算承認の件

審議の結果、全員一致で可決承認

第３号議案　平成１８年度の事業計画、および収支予算決定の件

審議の結果、全員一致で可決承認

第４号議案　役員の選任に関する件第１号議案

審議の結果、全員一致で可決承認

（議長は、添付書類「平成１７年度事業報告書」「平成１７年度決算書（財産目録、貸借対照表、収支計算書）」に基づき、各議案の報告と説明を行った後、各議案に関して承認を求めたところ満場異議なく承認可決した。）

第５号議案　定款変更について

議長は主たる事務所を移転する為､定款第２条を次のように変更したい旨を議場に諮ったところ、満場一致をもって可決決定した。

| |
|---|
| （事務所）<br>第２条　この法人は、主たる事務所を大阪府枚方市に置く。 |

第６号議案　議事録署名人の選任の件

議事録署名人について、議長より本日出席の上原　一恵氏、森　いづみ氏の２名を指定したところ、満場異議なく承認された。

④　議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。

## Ⅵ　理事会その他の役員会の開催状況

**第一回理事会　平成１８年６月１８日**

（内容）

定款の規定により、代表理事大隈剛由が議長に就任し、ただちに議案の審

議に入る。

第１号議案　平成１７年度事業報告、決算報告・監査報告について

議案について、大隈が説明、満場一致をもって承認

第２号議案　平成１８年度事業計画案について

議案について、大隈が説明、満場一致をもって承認

第３号議案　平成１８年度予算案について

議案について、大隈が説明、満場一致をもって承認

第４号議案　第一回通常総会開催について

議案について、大隈が説明、満場一致をもって承認

第５号議案　定款変更について

議長は主たる事務所を移転する為、定款第２条を次のように変更したい旨を議場に諮ったところ、満場一致をもって可決決定した。

（事務所）

第 2 条　この法人は、主たる事務所を大阪府枚方市に置く。

第６号議案　主たる事務所移転について

議長は主たる事務所を平成 18 年 8 月 1 日に大阪府枚方市車塚 1 丁目 1 番 1 号に移転したい旨を述べ、これを議場に諮ったところ、満場一致をもって可決決定した。